



めでいかいニューす 号外

地域医療集会特別号①

2015自治労地域医療全国交流集会in新潟

～つながる「地域医療」と「包括ケア」を考える～

日時： 2015年2月21日(土)13:00～2月22日(日)14:00

場所： 「朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター」

〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1 <http://www.tokimesse.com/>

参加規模： 最大1500人

参加費： 集会参加費5000円(予定) + 全体交流会参加者については懇親会費(未定)

内容：

【1日目】全体会

13:00 開会・挨拶

13:30 基調提起

14:00 基調講演 「なぜ地域包括ケアが必要なのか」 いはいしゅうへい 一橋大学大学院社会研究科 猪飼周平 氏

15:30 休憩

15:40 パネルディスカッション 「地域包括ケア時代の始まり、医療労働者の仕事はどう変わる(仮)」

司会・コーディネーター 自治労衛生医療評議会議長 野村まゆみ

パネラー 厚生労働省

日本看護協会常任理事 松月みどり 氏

愛媛大学医学部総合サポートセンター長・医師 ひつもとしんいち 櫃本真幸 氏

助言者 一橋大学大学院社会研究科 猪飼周平 氏

18:00 休会

18:30-20:00 全体交流会 (希望参加者対象)

分科会の見どころについては、特集号②にてご案内します

【2日目】分科会

9:00-14:00 分科会(①看護 ②組織強化・拡大 ③コ・メディカル ④病院食)

2015年地域医療集会 各県目標参加者数

北海道	40人	栃木	30人	福井	30人	兵庫	30人	福岡	20人
青森	30人	茨城	20人	静岡	30人	岡山	20人	佐賀	20人
岩手	20人	埼玉	20人	愛知	20人	広島	20人	長崎	20人
宮城	40人	東京	40人	岐阜	20人	鳥取	20人	大分	20人
秋田	30人	千葉	20人	三重	30人	島根	20人	宮崎	20人
山形	30人	神奈川	40人	滋賀	10人	山口	20人	熊本	20人
福島	30人	山梨	20人	京都	10人	香川	10人	鹿児島	20人
新潟	150人	長野	40人	奈良	20人	徳島	20人	沖縄	20人
厚生連	200人	富山	30人	和歌山	20人	愛媛	10人	事務局	30人
群馬	30人	石川	40人	大阪	30人	高知	10人	計	1500人

なぜ、新潟開催なの？



新たに仲間に加わった新潟厚生連4千人の組合員が一人でも多く参加できるように、新潟地域医療全国交流集会を開催します。自治労衛生医療評の仲間と厚生連の仲間がこの集会を契機に交流を深め、医療関連労働者が抱える様々な課題を解決する大きな力を生み出してきましょう！

なぜ、「地域包括ケアシステム」

がテーマなの？



現在、さまざまな医療政策は、「地域包括ケアシステム」の構築を一つの軸として展開されています。地域包括ケアシステムの中では、医療提供体制の場が、病院(施設)から地域(在宅)へと変化することになります。

つまり、医療の在り方は、「病院における病気の治療」から、「住み慣れた地域で質の高い生活を続けていくための治療」という変化の途上にあります。これに伴い、医療従事者は、働き方や意識など、大きな変化に直面することになります。

これらの情勢を踏まえ、自治労では、「地域包括ケアシステム」を中心テーマとして、なぜ地域包括ケアが必要なのか？いざ実践の場で現在の仕事とどう変わっていくのか？という現場の声に答えられるよう、厚生労働省が示す政策や、職能団体等の考え方について理解を進め、その問題点や課題を検証し、よりよい「地域包括ケアシステム」について考えます。

そして、本来の目的である地域住民のニーズに沿った「地域包括ケアシステム」のあるべき姿を見出し、各地域での議論、実践に繋げることを目標とします。

基調講演の猪飼先生について知りたい！



猪飼周平先生は、一橋大学大学院社会学研究科教授・経済学博士であり、ヘルスケア政策・社会政策・社会福祉政策を領域とし、社会学・歴史学などの手法を用いて研究をしています。

地域包括ケアシステムと医療の役割についての研究を行う社会学者として、大きな注目を集めています。

<猪飼先生の考える地域包括ケアと医療>

- ・地域包括ケア化とは、ケアの医療提供の場が病院から地域へと変わる歴史における重大な転換を意味し、日本の医療は大きな変容を迫られている。
- ・現在の医療は、病院内での医療サービスに特化しているが、これからは、地域に出て利用者の「生活の質」に結びつけられた「生活サイクルを中心としたケアシステム」が求められる。同時に、院外での医療に繋げるための院内での医療の在り方についても考えなければならない。
- ・どのようにケアミックスし、全体をコーディネートするかなどさまざまな選択肢がある中で、地域包括ケアは住民自身が決める「自治とはなにか」という古くて新しい課題ともいえる。

著書：猪飼周平『病院の世紀の理論』有斐閣(2010年)

猪飼周平「地域包括ケアであるべき”根拠”とはなにか」『医療白書2012』第1章、日本医療企画(2012年)

参考URL：医学図書【対談】「病院の世紀」を超えて http://www.igaku-shoin.co.jp/paperDetail.do?id=PA02916_01#b
猪飼周平の細々と間違いを直すブログ <http://ikai-hosoboso.blogspot.jp/>

新潟は なじらね？



新潟弁で「なじ」=「どう、どんな」の意味

うんめもの！

うまい水、うまい米、コシヒカリ生誕地！

【日本酒】

久保田(くぼた)

淡麗辛口の代表

×張鶴(しめはりつる)

長い歴史と伝統に育まれた芳醇な美酒

八海山(はつかいさん)

新潟と言えばこの酒と日本酒通の間では評判

越乃寒梅(こしのかんばい)

地酒フームの際は幻の酒として脚光を浴びた

味わいは飲みやすい「淡麗純米」

緑川(みどりかわ)

パインのようなフルーティーな香りが特徴

【新潟2〜3月旬】

マガキサヨリ スワイガン

雪肌うるい美人れんこん いちご(越後姫)

キレイと元氣♪

【美容・疲労回復】

米どころ新潟には、今話題の粧の専門店があります。
米粧や甘酒は、疲労回復や美につながる効果がいっぱいな食品で、働く女性の強い味方です。

「古町粧製造所」には、粧肌クリーム、生姜入り粧・神社(ジンジャー)エール、粧ほうじ茶などぜひ使いたい・食べたい珍しいアイテムがいっぱいです。

参考URL: <http://www.furumachi-kouji.com/omise.html>



交通手段

【新幹線】

新潟駅 ⇄ 東京駅 1時間40分〜2時間10分

【飛行機】

新潟空港	新千歳空港
⇄ 成田空港	1日6往復
⇄ 中部国際空港	1日1往復
⇄ 伊丹空港	1日1往復
⇄ 福岡空港	1日10往復
⇄ 那覇空港	1日3往復
	1日1往復(10〜5月)